

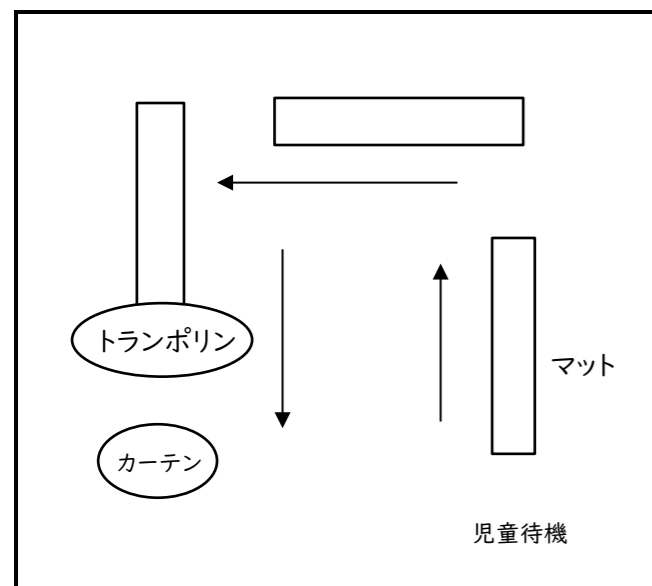
# 授業づくりシート

領域名 自立活動

学年 I 学年

テーマ	「これで安心！自分からやってみよう」	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての場所や活動では落ち着かない様子があるが、慣れてくると教師の支援を受けながら授業に参加することができるようになる。(心理的な安定)</li> <li>・何かに注目し続けることが難しく、動作模倣は苦手である。(環境の把握)</li> <li>・常に身体に力が入っている様子があるが、身体を動かすことが好きである。(身体の動き)</li> <li>・理解している絵カードや写真カードは少ないが、わかる場所であれば写真カードを見て移動できるようになってきた。(コミュニケーション)</li> <li>・興味関心の幅が狭く、好きな物が少ない。回っている玩具が好きで、どんな物でも回すことができる。(心理的な安定)</li> </ul>	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動がわかり、自分から取り組む場面を増やすことができる。 (心理的な安定、環境の把握)</li> <li>・好きな物や心地よい物を見つけることができる。(心理的な安定)</li> <li>・写真カードを見て、その場所まで集団で移動することができる。 (人間関係の形成、コミュニケーション)</li> </ul>	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
靴と靴下を脱ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉かけや場面で状況を判断して、行動に移すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉をかけながら手を添えてかかと部分に触れ、きっかけを作る。</li> <li>・靴下を脱いだ時に上履きを目の前に提示し、靴下を入れるように促す。</li> </ul>
サーキット運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動への見通しをもち、教師の見守りの中に取り組むことができる。</li> <li>・自分の好きな物や心地よい物を見つけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れを覚えられるように、毎回同じコースにする。</li> <li>・色々な活動を経験できるように、週の初めは手を繋いで一緒に取り組む。</li> </ul>

## ○場の配置



## ○教材教具等

- ・感触マット
- ・キラキラカーテン
- ・トランポリン

## ○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	○始めの挨拶	・授業を始めることがわかるよう、全員が着席した状態で挨拶をする。
9:51	○靴と靴下を脱ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉をかけながら手を添えて靴のかかと部分に触れ、脱ぐきっかけを作る。</li> <li>・靴下を脱いだタイミングで上履きを目の前に提示し、靴下を入れるように促す。</li> </ul>
9:54	○サーキット運動 ①感触マット ・ざらざら ・ふわふわ ・ちくちく など ②トランポリン ③キラキラカーテン ※1週目は教師と一緒に回る ※2週目以降は、音楽が流れ続けている間、回り続ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飽きないように、日によって毎日マットの種類を変える。</li> <li>・足元に注目できるように、マットの間隔を離して床に置く。</li> <li>・好きそうな様子が見られたときは、見守る。</li> <li>・途中トンネルを用意し、足裏以外での感覚を感じる時間を取り、中に入りたいと思えるように色付きビニールをつなげた物をトンネルにする。</li> <li>・活動に見通しをもち始めたことで、もっとやりたいという様子が見られる児童が出てきた。BGMを使用し、教師と順番に取り組む時間、自由に回る時間と分ける。</li> <li>・見通しをもちやすいように、活動はサーキットで固定をする。内容を週ごとに変えていき、色々な物を知る(感じる)ことができるようにする。</li> </ul>
10:05	○終わりの挨拶 ・靴と靴下を履く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が終わることがわかるよう、全員が着席した状態で挨拶をする。</li> <li>・靴下が裏返しになっている児童には、表に返す方法を一緒に確認する。</li> <li>・言葉かけや状況で判断できるように、「靴下を履きましょう。」と言った後に教師が履くところを見せ、児童の動きを待つ。</li> </ul>

## 【5時間目】

活動内容	ねらい	具体的な手立て
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードを見て移動をする</li> <li>・行先で様々な活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードの意味を理解し、移動することができる。</li> <li>・初めての活動に友達や教師と一緒に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A5サイズの場所カードを用意し、一人ずつ目の前に提示してから移動をする。</li> <li>・楽しめるように、その行先ならではの活動を用意する。</li> </ul>

## ○成果と課題

○いろいろな感触を足裏で踏めるようになった。床に膝をつく場面では、抵抗があった児童も繰り返すことで慣れていった。

○トランポリンを途中で設定した。自然と順番を待つ場面ができた。10カウントで終わりを取り入れたことで、全員10カウントで終わることができるようになった。

△教材への飽きがあるため、随時変更が必要。いろいろな感触を知ってほしい思いはあったが、用意できるものには限界があり、教材研究や準備の時間の確保が必要だった。